

平成18年度まちづくり功労者の功績概要

1. 酪農家集団A BーMOB I T (北海道根室市)

地域の基幹産業である酪農業や農村景観・文化を都市住民に理解してもらうことを目的に、牧草地やJR標津線跡地、旧馬鉄跡地などをつないだフットパス（英国式遊歩道）を整備した。また、フットパスの整備とあわせて、拠点となるキャンプ場作りや乳製品の加工体験、そば打ち体験などの体験プログラム作りも行っている。生業である酪農業に誇りと愛着を持ち、地域の資源として十分に活用し、交流人口の増大や農村文化の魅力向上に大きな役割を果たすなど、北海道らしいまちづくりの先導的モデルとなっている。

2. 三沢市連合町内会 (青森県三沢市)

快適な市民生活の確保のためクリーン大作戦を主催し、40回にわたる市民参加の清掃作業を定着させ、三沢市の環境美化推進に貢献し大きな成果をあげている。さらに、不法に投げ捨てられるごみから生活環境を守るため、市内各地区において不法投棄物清掃作業を実施し、不法投棄防止の啓発をするとともに環境保全に努めている。また、市役所周辺のプランターに花を植え、今年度5年目を迎える花いっぱい運動の実施により地域住民の美化意識の啓発、交流の活発化、美化活動に貢献した。

3. 郡山市御前南土地地区画整理組合 (福島県郡山市)

土地地区画整理事業施行前は市街化調整区域であったが、周辺の宅地開発や既存の団地に接していることや、人口増加が著しいため、急速に宅地化が進行し無秩序な宅地開発の恐れがあった。そこで、地権者が一致団結し、平成4年に土地地区画整理組合を設立し、道路、公園などの公共施設の整備と秩序ある土地利用の効率化や健全な生活環境を確保するとともに、地区内を流れる河川との調和のとれた街並みを形成した。

4. 桜川市 (茨城県桜川市)

250棟以上の歴史的建造物のうち104棟を国の有形文化財に登録し、それらの歴史的景観を活用したまちづくりを進めるため、景観に配慮した来訪者用の公衆トイレの設置や、駐車場の整備を行った。また、地域住民が主体的にまちづくり活動を進めるために地元まちづくり団体による歴史的建造物の管理・運営に対する支援を行ったり、商業の活性化や地元起業を支援するために歴史的建造物を地元商店会が借り上げるための経費の支援を行い、にぎわいの創出を図った。

5. 泉町1丁目南地区市街地再開発組合 (茨城県水戸市)

近年、吸引力が弱まりつつあった水戸市の中心市街地である泉町1丁目地区において、市街地再開発事業を実施し、既存商店街との回遊性を向上させることによって、中心市街地に一層の輝きとにぎわいを取り戻し、空洞化に歯止めをかける広域商業拠点を形成した。さらに、都市計画道路網を整備することによって交通の利便性を向上させ、安全で快適な歩行者空間を確保した。

6. 宇都宮駅西口第四A地区市街地再開発組合（栃木県宇都宮市）

利便性が高く駅前の都市機能の一部を担う地区でありながら老朽化した商業施設や娯楽施設が占めている極めて低い土地利用状況と防災上の問題を抱えていた地区において、観光客やビジネス客などを迎え入れるための宿泊機能の強化を図る施設を市街地再開発事業により整備し、県都の玄関口として相応しい都市機能と都市景観を兼ね備えた街並みを創出した。

7. 松田薫三（埼玉県ふじみ野市）

亀久保特定土地地区画整理事業、鶴ヶ岡特定土地地区画整理事業及び大井・苗間第一土地地区画整理事業の3地区もの土地地区画整理事業に従事し、業務代行方式や保留地の集合化といった画期的な手法を導入するなどして、民間活力による市街化の促進に大きく貢献した。また、それらのノウハウを、講演や論文の執筆を通して、全国各地において普及促進と指導を行い、区画整理事業の推進と発展に多大なる貢献を果たした。

8. 鷺宮町東鷺宮土地地区画整理組合（埼玉県北葛飾郡鷺宮町）

厳しい経済状況下において、事業を円滑に推進するため、施工方法の工夫による事業費の大幅削減、保留地優先の工事工程、保留地の先行販売の実施、コストアップを伴わない街並みのアップグレード等、数々の創意工夫により短期間で事業を完了させた。また、環境デザイン計画、地区計画、外構設計ガイドラインの策定等を通じて、美しい街並みを住民との協働により整備した。

9. 日本橋浜町三丁目西部地区市街地再開発組合（東京都中央区）

良好な居住環境の創出と既存住宅の更新等、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図り、にぎわいと活力ある地区の創出や防災性の向上を図った。また、道路や緑道、保育所など公共公益施設等の整備を行い、「住み続け、働き続けられるまちづくり」を目指し、行政課題としていた「定住人口の維持・回復」に寄与することによって、社会貢献・地域貢献を目指す後進の事業の先導的優良事業として大きな役割を果たした。

10. 小山町馬場土地地区画整理組合（東京都町田市）

公園・緑地の整備により地域住民の憩いの場を創出し、緩衝帯の確保等地域の緑地保全に寄与した。また、地価低迷の影響を受け、認可当初に予定していた単価で保留地を処分することができず、保留地面積を増やす「再減歩」を強いられるなど事業運営に苦慮したが、多大な時間と労力を要しながら保留地の完売に至り、土地地区画整理事業を成し遂げ、良好な住環境形成に寄与した。

11. 豊町まちづくり協議会（神奈川県相模原市）

落ち着きとゆとりある良好な住宅地等の環境を維持、保全するために、11.1haもの既成市街地を対象に住民自らの発意により、合意形成を図ることが困難な既成市街地において、調査、協議、検討、説明会等を幾度も繰り返しながら、地権者の多数の同意を得て地区計画の素案を策定し、市に地区計画の都市計画決定の依頼を行い、都市計画決定に至った。

12. 城山町川尻向原土地区画整理組合（神奈川県津久井郡城山町）

市街地の形成が求められるとともに無秩序な土地利用を未然に防止するため、地域住民と行政が一体となって土地利用等の研究を通じ、土地区画整理事業により農地等の未利用地を計画的な住居系及び沿道サービス系に配置し、地区計画の導入により良好な市街地の形成を誘導している。都市計画道路により分割される住区には、誘致距離を基に街区公園を3箇所設置し、地域住民に豊かな緑、憩いとコミュニティの場を提供した。

13. 株式会社クリゾンテムふくの（富山県南砺市）

従前権利者との合意、保留床処分等幾多の困難を関係者の熱意で乗り越え、JR福野駅前の交通結節機能と一体に市街地生活の利便性や快適性を向上させる商業・サービス施設、都市居住型公共賃貸住宅を整備し、にぎわいまちづくりの推進に先導的に取組み、活力ある中心市街地の再生に大きな弾みをつけた。

14. 西町・総曲輪地区市街地再開発組合（富山県富山市）

近年のモータリゼーションの進展に伴い、郊外での大規模店舗の進出に拍車がかかり、当該中心市街地の商業的地盤沈下が顕著になっていた当地区において、一体感のある店舗配置と大型駐車場を核とした複合施設を建設することにより、都市機能の向上と共に市街地活性化を実現し、富山市の広域商業活動の中核的役割の再生に寄与した。

15. 七尾都心軸まちづくり協議会（石川県七尾市）

空洞化が進み、周辺からの吸引力が失われつつあった中心市街地において、まちづくりに関する勉強会や協議会を通して、まちづくりに対する沿道住民の意識向上を図り、地権者との調整に中心的な役割を果たすことによって街路事業の円滑な推進に寄与したほか、まちづくり協定を策定し、協定書に基づいた沿道の修景と中心市街地のにぎわいづくりに貢献した。

16. 育良町まちづくり委員会（長野県飯田市）

土地区画整理事業完了後の乱開発が予想される中で、現在の景観を維持し美しい潤いのあるまちづくりを進めるために、景観形成住民協定を締結し、地区の地権者等関係者全員を対象にした委員会を発足させ、現在まで11年間、協定内容の遵守と、景観形成が図られるよう活動を行っており、飯田市においては他2地区の景観形成住民協定締結のモデルになる等、まちづくりの模範となっている。

17. 袋井市柵宜弥土地区画整理組合（静岡県袋井市）

駅前広場や都市計画道路及び公園等の整備を行うとともに、「柵宜弥まちづくり研究会」を組織して地区計画や緑化の推進等まちづくりのルールを定め、都市景観に配慮したまちづくりを行うことによって、地域コミュニティの醸成に貢献した。また、水害の頻発する地域であったが、全戸移転によるスーパー堤防形式による整備を行い、災害に強い、安全なまちづくりを行った。

18. 東海浅山新田土地区画整理組合（愛知県東海市）

伊勢湾岸道路、名古屋港、中部国際空港等への近接立地など、陸・海・空のアクセスを活かした新産業・物流拠点として、地区内道路、公園・緑地、耐震貯水槽・ヘリポート等の防災拠点機能も土地区画整理事業により整備した。利用目的別の集約換地を実施する等、計画的な土地利用転換を行い、併せて土地管理会社も設置し、交渉・管理・運営等の一元化により、計画的な企業誘致を進め、名古屋大都市圏の産業発展に大きく寄与した。

19. 松新地区市街地再開発組合（愛知県春日井市）

道路・鉄道等の交通の利便性に恵まれた立地条件を有するにもかかわらず、老朽化した木造低層家屋が多く、駅前としての健全な都市機能の発展が阻まれていた地区において、施工中の土地区画整理事業と連携して、建物の共同化、高度化及び不燃化を促進して、市街地再開発事業を完成させ、中心市街地活性化に多大な功績を残した。

20. 下河端土地区画整理組合（福井県鯖江市）

広域的な交通の利便性という点で優れた立地条件にあり、一団の工業系用途地域内で唯一残された未開発地において、都市型産業、企業の立地の受け皿を計画的につくり、良好な市街地形成の整備に貢献した。また、「緑のまちづくり」として組合独自の助成制度を創設し、景観に配慮した魅力あるまちづくりを推進した。

21. 八幡市上津屋北部土地区画整理組合／八幡市上奈良土地区画整理組合（京都府八幡市）

第二京阪道路八幡東インターチェンジ東西それぞれに隣接する恵まれた立地条件を活かし、土地区画整理事業により、アクセス機能を向上させる道路整備はもとより、環境にも重点を置いた核的産業ゾーンの形成に相応しい公共施設等の整備を行い、生産拠点、流通基地として、京都府南部地域の発展に貢献した。

22. 豊中市少路土地区画整理組合（大阪府豊中市）

大阪モノレール少路駅周辺の乱開発及びスプロール化を防ぐとともに、モノレール利用者の利便性を図るため、公共施設の整備及び宅地の供給を進め、土地区画整理事業を完了させた。自然環境を考慮し、農業用水溜池と周辺の樹木の保全を行い、豊中市北部の中心に相応しい自然と調和したゆとりと潤いのある良好な市街地を形成した。

23. 泉佐野駅上東地区市街地再開発組合（大阪府泉佐野市）

市街地再開発事業中、経済の低迷により商業核テナント及び保留床取得者の撤退という事態に見舞われ、事業の長期化を余儀なくされたが、必要最低限の事業規模とする低容積型の事業計画に実現性を見出し、管理会社が保留床を取得する協調型の事業と組み合わせ新たな事業形態により再開発ビルのオープンにこぎつけ、都市機能の更新とともに、泉佐野駅周辺の中心市街地の活性化とにぎわいを実現した。

24. 北口・高木まちづくり協議会（兵庫県西宮市）

阪神・淡路大震災後の混乱の中、一本化の難しい地域において協議会を設立し、精力的に議論を交わしながら住民等の意向の集約に努めた。積極的な学習によりまちづくり憲章の制定や地区計画案、道路・公園計画案等様々な提案をとりまとめ、行政と協働したまちづくりに取り組み、これを実現させた。

25. 空き缶でもうけてもええ会（兵庫県佐用郡佐用町）

ゲーム付き空き缶回収機の設置等リサイクルから商店街活性化活動を展開し、地域の他の問題（ブロードバンドの整備普及・特産品の開発やPR・青少年健全育成事業等）についても、全国に持つネットワークを利用して、ユニークな発想で無理せず楽しみながら取り組み、地域活性化に貢献した。また、運営資金の大半を自身の収益事業で賄いながら展開している。

26. 横田大市街づくり委員会（島根県仁多郡奥出雲町）

「せせらぎが聞こえる神話の里」づくりをテーマに、小公園、水路、道路の美装化、通路、案内板などの施設整備とともに、沿道の一般家屋の修景を行う「大市地区街なみ環境整備事業」において、住民間の意見調整、集約に努めるとともに、整備方針の検討、各施設整備に係る調査研究に積極的に取り組み、整備計画の作成において主体的な役割を果たすことにより、地区住民の発意によるまちのにぎわい再生活動の実現に大きく寄与した。

27. 出雲市（島根県出雲市）

都市基盤が未発達なまま宅地化された当該地区について、良好な住環境の創出と、市の骨格となる道路ネットワーク化を図るため、幹線道路、市街地環状道路を整備し、新たな商店街の形成と既存住宅地の住環境改善を図る都市基盤整備の柱とした土地区画整理事業を完遂させた。併せて、商業者による景観ルールを定めた店舗づくりを行い、にぎわいと活気のあるまちづくりを進めた。

28. 泉川はまぼうの会（福岡県糸島郡志摩町）

九州最大のハマボウ群落である泉川に自然博物館を開園し、その整備、維持管理に努めるだけでなく、糸島地域内の小・中学校の総合学習での現地体験学習等を指導したり、地元農業高校、ボランティア団体等と連携し、清掃作業や、ハマボウが咲く季節の「はまぼう夢祭り」を開催する等、地元の自然を生かしたにぎわいのあるまちづくりに貢献した。

29. NPO法人高瀬蔵（熊本県玉名市）

玉名市高瀬は恵まれた地理と水運の発展により大阪の堂島に運ぶ菊池川流域米の一大集積地として繁栄した。この地に古くから残る商家の高瀬蔵を中心市街地活性化の拠点として整備し、情緒ある古い町並みを活かした地域の文化活動やまちづくり活動、音楽コンサートなどを行い、玉名地域の人々と来街者に楽しさと感動を与える様々な事業の展開をし、地域の活性化ならびに、にぎわいまちづくりに大きく貢献した。

30. のぐちとみひろ みやぎきけんみやこのじょうし 野口富弘（宮崎県都城市）

都城市中央東部土地区画整理事業を推進するために地元組織の要職につき、事業推進に貢献した。その後、都城まちづくり株式会社取締役として無報酬で市街地再開発事業の計画づくりに奔走し、商業施設や公共施設を複合的に配置し活性化を図るという目的達成のため民間と行政の間に立ち積極的な調整を行った。そして、厳しい経済状況下において、民間による商業核施設の開発を誘導し立体駐車場及び市民交流施設の公共による整備を促進するなど、中心核形成に大きく寄与した。

31. みやぎしはながしまさくらまちと ちくかくせいろくみあい みやぎけんみやぎし 宮崎市花ヶ島桜町土地区画整理組合（宮崎県宮崎市）

住民の「いい暮らし」、「いい笑顔」の実現を目指して、組合独自で「桜町まちづくり協定」を策定し、開放感のある快適で住みよいまちづくりを行うとともに、土地区画整理事業を短期間で完了するなど、緑豊かで快適な住みよい環境整備を実現した。

32. じえいあーることにえきたぐちちくしが いちさいかいほつみあい きつぽろしにしく J R 琴似駅北口地区市街地再開発組合（札幌市西区）

西区の地域中心核として、商業・業務施設と都市型住宅の供給を行い、駅前のにぎわい空間を創出し、円滑な権利調整により事業の完成に至った。また、冬期でも安全で快適な J R 駅直結の屋内型空中歩廊及び歴史が息づくコミュニティ空間として歴史的建造物を集会所に整備しており、多くの人々に利用され、親しまれることが期待されている。

33. うらわえきにしぐちみなみだいよんちくしが いちさいかいほつみあい しうらわく 浦和駅西口南 第四地区市街地再開発組合（さいたま市浦和区）

老朽化した木造建物が密集しており防災上極めて危険である上に、駅から至近の立地であるにもかかわらず基盤が未整備なため、土地の健全で合理的な高度利用が阻害されていた地区において、安心して住み続けられる住宅の整備とともに良質な住宅の供給を図るため、施行区域内の権利者及び自治体の相互協力の下、市街地再開発事業を進め、円滑に事業を完了させた。

34. かぶしが いしゃにつべいと やま よこはましかなざわく 株式会社日平トヤマ（横浜市金沢区）

保有する大規模工場の跡地開発を、能見台駅前というその立地条件等から単純な跡地開発ではなく、まちづくりとして行いたいと考え、駅前市街地の住工混在を解消し、複合機能を有する都市型住宅地へ土地利用転換を図ることにより、地域住民のための生活拠点の形成や、福祉や街並み景観などに配慮した環境づくりなど、安全で快適な都市空間を形成した。

35. えだきたにちょうめじちかいじゅうかんきょういんかい よこはましあおばく 荏田北二丁目自治会住環境委員会（横浜市青葉区）

地区内の合意形成を行い、「住環境委員会」を立ち上げると同時にまちづくり協定を策定し、まちづくり協定の一部を地区計画に定めるとともに、「横浜市地域まちづくり推進条例」に基づいて「住環境委員会」を「地域まちづくり組織」に「まちづくり協定」を「地域まちづくりルール」として横浜市長の認定を受け、建築協定で守ってきた良好な住環境を将来の世代に継承する基礎を築いた。

36. なごやしきつことくていとちくかくせいりくみあい なごやしもりやまく名古屋市吉根特定土地区画整理組合（名古屋市守山区）

志段味地区では「志段味ヒューマン・サイエンス・タウン整備計画」に基づいて、ひと・自然・科学がとけあう環境創造をめざしまちづくりが進められている。当組合は志段味4地区の先駆的、先導的役割を担い、地権者や関係機関との調整を通じて土地区画整理事業による基盤整備を積極的に進めながら、市が目指すまちづくりに大きく貢献した。

37. しゅうとくじ ちれんごうかい きょうとししもぎょうく修徳自治連合会（京都市下京区）

旧修徳小学校学校区という24町にわたる広範囲なコミュニティの単位で、住民の意見をまとめ、都心部の職と住が共存する地域の特徴を生かしたまちづくりの方針を作成し、地区計画として定めた。また、この方針を実現化するための地域の想いを「まちづくり憲章」としてまとめる等、継続的な取組により魅力あるまちづくりの推進に貢献した。

38. ちやまちにしちくしがいちさいかいほつくみあい おおさかしきたく茶屋町西地区市街地再開発組合（大阪市北区）

西日本最大の梅田ターミナルの北東に位置し、阪急梅田駅にも近接した非常に利便性の高い地区であるにもかかわらず、老朽化した低層の木造家屋が密集し、空き家も多く存在する等の防災・防犯面で問題を抱える地域において、権利調整等の幾多の困難を乗り越って再開発事業を完成することにより、まちが一新され、にぎわいがありアメニティ性が高い都市空間が創出され、周辺地域を含めまちが活性化された。

39. ろっこうみちえききたちく れんごうきょうぎかい こうべしなだく六甲道駅北地区まちづくり連合協議会（神戸市灘区）

平成7年1月の阪神・淡路大震災により約70%の建物が大きな被害を受けた地区の震災復興土地区画整理事業の推進に協力し、また10年間にわたって地区全体の住民の意見を取りまとめ、まちづくり提案の提出や行政との協働のさまざまな活動により、まちづくりの推進に大きな役割を果たし、住民主体のまちづくりを実現させた。

40. くさつ かい ひろしましにしく草津まちづくりの会（広島市西区）

西国街道沿いに昔の街並みが残る草津地区において、空間資源や住民の熱い思いを現在に繋げ、様々なイベントを開催することを通して、多くの住民・市民の継続的な参加を促し、新しい分野のまちづくり活動展開へと波及効果を挙げており、市内での先駆的な活動として他の地域の古い街並みの保存の促進に大きく寄与した。

41. せんた まつりじのこういんかい ひろしましなかく千田わっしょい祭実行委員会（広島市中区）

広島大学の移転後に活気を失った千田地区で学生と地域住民による大学祭を開催し、その後、毎月開催される市民祭として「千田わっしょい祭」に継続拡大された。公共空間の利活用の先進例として、また活動資金の確保の成功例として注目されている。また、若者のまちづくり参加の代表的イベントとして、かつての「学生の街・千田」のにぎわいを継承し、まちの活性化に大きく貢献している。

42. しずおかししもかわはらみなみとちくかくせいりくみあい しずおかしあおい静岡市下川原南土地区画整理組合（静岡市葵区）

毎年風水害の被害を受ける農耕地であったが、周辺地域まで進んだ都市化の波に対応し、区画整理事業を実施した。事業を促進するために仮換地の変更をダイナミックに実施して、総合病院を誘致し、病院関連住居、商店等が建設に参加する相乗効果が得られ、飛躍的に換地処分を早め、余剰金を利用して多くのまちづくりを形成させた。